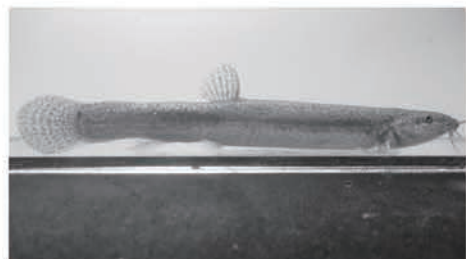




# 「ドジョウ」



最も有名な淡水魚でありながら現在日本各地で田んぼの圃場整備が進み生息に適した湿地環境が失われた結果、各地で人知れずいなくなっている生き物でもある。北九州市内でもドジョウがいない田んぼがほとんどで山間部の溜め池や河川の中、下流域のワンドなどで細々と生きているといった残念な状況。

実はこのドジョウという魚、ドジョウ研究の第一人者、中島淳博士により最近4種類に分けられることが判明!日本の各地に広く分布する本家のドジョウの他にも北海道や本州の一部に分布するキタドジョウ、南西諸島の一部に分布するヒョウモンドジョウ、シノビドジョウの3種類が新たに加わった。童謡に登場するほど身近な生き物だがもはやドジョウはどこでも同じドジョウではないのである。ところがそんなドジョウの多様性を脅かす新たな脅威も。それが外来種のドジョウの存在。食用や釣り餌用に流通している中国からの輸入ドジョウが放流され定着している場所が確認されてい

る。この外来ドジョウ、在来のものと見た目もそっくりなうえ、交雑し駆逐する可能性も指摘されておりその分布の拡大が心配されている。最近も紫川の支流で採集をしていると川岸にできたワンドにドジョウがたくさんいるのを発見!ところが喜んだのも束の間、その上流ではすでに外来のものがみついていたというトホホな事実が判明。もしかすると放流した人は近頃のドジョウの減少に心を痛め善意で行なったのかもしれないが買って来た生き物やよそで捕って来た生き物を野外に放すことは絶対に止めて頂きたい。最近NHKの某人気番組で主役として取り上げられるなど世間の注目を集めつつあるドジョウだが、かつてメダカがそうだったように数が少なくなり絶滅の危機が囁かれると「とにかく放流して増やそう!」と保護活動?を始める人がいる。「最近田んぼや小川でドジョウを見なくなった。何とかしたい!」と思っている人がいたら、まずは博士の渾身の著作「日本のドジョウ」(山と溪谷社)を読む事をお薦めする。特にこの本の28p~32pに書かれてある内容と博士の提唱するドジョウを守る3ヶ条は必読。どうすればドジョウは増えるのか?、ドジョウを守るために私たちがなすべき事とは?日本の素晴らしいドジョウの仲間を後世に残していくための道筋を熱い想いで説いてくれている。

## スタッフの飼育日誌

### “師走の引っ越しとしばしのお別れ”

ホームページ等でお知らせしましたとおり2017年12月4日からしばらくの間、館内のリニューアル工事のためお休みしておりました。開館以来17年が経ちあちこち設備の老朽化に頭を悩ませていた矢先のリニューアル話に「やったぜ!館内が新しくなるぞ!」と喜んでいたら「今回の工事はかなり大掛かりなので館内の備品は勿論、生き物も全て仮移転先に移動させるように」との指示があり、そのため改修工事直前の12月に入ってからはその引っ越し準備と移動でまさに師走の大忙しとなったのです。

日頃からみなさんに喜んでいただこうと出来る限りたくさんの種類の生き物を集め展示し、希少なタナゴの仲間をたくさん増殖して系統保存に努めてきましたが、生き物の数が多くなれば荷物も当然多く

なるわけでした。しかも展示水槽内部のレイアウトはこれでもかと言うくらいに土やら石やら砂利やら草やらを入れていたのでそのまま持ち運べるはずもなく、折角レイアウトした水槽もほとんどすべてのものを取り出しリセットしなければなりません。長年維持してきたレイアウトを自らの手で壊していく、遂にはもぬけの殻となった水槽の数々を見た時には何とも言えない虚脱感に襲われましたがこのゼロとなった水槽は新たな展示作りの始まりでもあります。みなさんの期待に応える、いや期待を超える更にパワーアップした水槽を現在構想中ですのでご期待下さい!

次号では仮移転先での日常の様子などをお伝えします。

# 水環境館だより 第70号

発行 | 平成29年12月15日

## 第53回 生き物講座「森の生き物観察会」を開催しました!

11月12日(日)、小倉南区の山間部にある頂吉で森の生き物たちの観察会を行いました。そのメインターゲットですがそれは森に暮らす獣たちです。私たちに身近な場所にも色々な野生の獣たちが暮らしていますがテレビや図鑑で見たことはあっても野外でしかも間近で見た事のある人は意外と少ないのではないでしょうか。それもそのはず非常に警戒心が強く夜行性のものも多いためなかなか昼間に堂々と人前に姿を見せてはくれません。



そこで前半は探索ルートに沿って獣たちが残した痕跡(フィールドサイン)を探し、後半は事前にルート沿いの森に仕掛けたセンサーカメラを回収、そこに映った獣たちの姿を室内で観察してみることにしました。森林沿いの探索ルートでは落ち葉に紛れた糞や地面に掘られた巣穴らしきものなどその痕跡がいくつも見つかりました。



またセンサーカメラの映像には深夜の森を徘徊する色々な種類の獣たちが記録されており、人間が寝静まった夜の森の中は昼間とは違って変わって、私たちの知らない獣たちが主役の世界が映し出されていました。

